

講義名	日本語資格試験講座 【N2対策】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験(N2)合格と同等レベルの日本語能力を養成する。
問題解決のコツとポイントを整理する。
文字読解・文法・聴解・読解の各スキルを網羅する。

到達目標

日本語能力試験(N2)の合格を目指す。
練習問題を解きつつ、自身の弱点補強とレベルアップができるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

テストや課題について、自々にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準

授業参加度(30%)、小テスト3回(36%)、期末テスト(34%)

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
全授業の1/3以上欠席したものは、試験を受けることができない。
連続3回で、1回欠席とする。
15分以上の遅刻は欠席とみなす。
授業の復習と課題をしっかりとすること。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。

- <参考文献>
- ①パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N2。 西岡俊哉ほか アルク
- ②ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字読解。ユニコム
- ③ドリル&ドリル日本語能力試験N2文法。ユニコム

授業計画

- 1.オリエンテーション、文字読解
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 2.文字読解
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 3.文字読解
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 4.文字読解
予習内容：文字読解の過去問に取り組み、自分なりに予備知識をつけた上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 5.文法、および文字読解の小テスト(1)
予習内容：講義の1回目から4回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 6.文法
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 7.文法
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 8.文法
予習内容：文法の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 9.聴解、および文法の小テスト(2)
予習内容：講義の5回目から8回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 10.聴解
予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 11.聴解
予習内容：聴解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 12.読解、および聴解の小テスト(3)
予習内容：講義の9回目から11回目の配布資料を復習し、小テストに備える。(150分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習する。(90分)
- 13.読解
予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 14.読解
予習内容：読解の過去問に取り組み、自分なりに問題パターンを把握した上で講義に臨む。(60分)
復習内容：講義資料をもとに授業内容を整理・復習したのち、類似問題に取り組み。(180分)
- 15.期末テスト

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、本学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考